

# わたりグリーンベルトプロジェクト 熱気球フェスティバル&シンポジウム

## 【開催趣旨】

震災で失われた防潮林の再生を通じ、亘理町の町づくりを目指す「わたりグリーンベルトプロジェクト」。東日本大震災では、復興を市民が主体となって進めているところもあれば、なかなかうまくいかない場所もある。そこで、各地で復興に取り組む仲間たちが集い、わたりグリーンベルトプロジェクトを事例に、市民主体の震災復興を進めるための具体的手法を皆さんと考えられないか？と思い、このシンポジウムが企画された。

同時に、亘理の子供たちを乗せた気球 5 機を空に舞い上げ、皆で亘理と復興地すべての人たちの夢を描きたいと考え、気球フェスティバルを実施した。2012年に初めて亘理町で気球フェスティバルを開催して以降、町の毎年の恒例イベントとなり、来場者が年々増加している。



## 【開催概要】

日時： 2012年12月22日（土）

07:00～12:00 熱気球フェス（参加者数 約600名）

熱気球搭乗体験（延べ300名）・ステージパフォーマンス（4団体）  
ブース出店（豚汁やおにぎり等土産産品、ウッドクラフトや輪投げ、  
苗木ポットづくり、絵馬かき等のアクティビティ）

10:00～16:00 シンポジウム「市民主体の震災復興とは？」（参加者数 約130名）

第1部 わたりグリーンベルトプロジェクトの紹介

6名の発表：マスタープランができてから私達がやってきたこと

第2部 対話型パネルディスカッション「わたりグリーンベルトプロジェクトを解剖する」

第3部 参加者全員での対話「東北で市民主体の復興を行うために」

※ 熱気球フェス&シンポジウム実行委員 13名（町内）

※ 当日ボランティア 91名（町内20名、町外71名）

【共催】 一般社団法人ふらっとーほく、NPO法人熱気球運営機構、NPO法人JKSK

【後援】 亘理町、亘理町教育委員会、

（社）グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク



